

お天気解説

アキラのズバツと

天気予報「はじめの一步」

「時々」と「一時」のちがいは？

令和6年4月12日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

春たけなわといった今日この頃です。日曜日は晴れて、満開になった区内の桜を眺めたり撮影したりした方も多いでしょう。しかし、4月に入ってから雨の降った日が多いですね。東京都心では雨が降らなかった日が上旬は4月2日と10日だけで、日照時間も平年の半分以下です。



満開の桜の様子

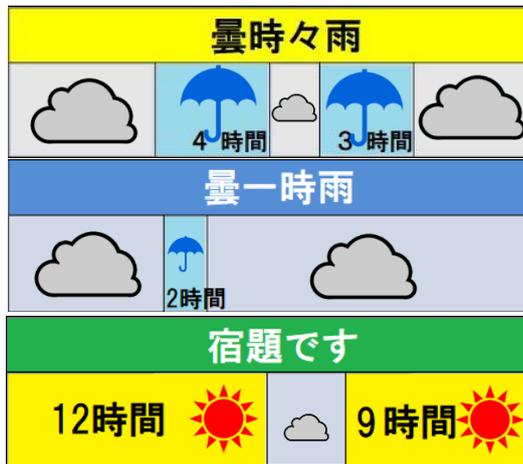
さて、今回の「はじめの一步」は天気予報でよく使われる言葉「時々」と「一時」のちがいについてです。気象庁HPを見ると、以下のように書かれています。

- ・時々雨：雨が断続的に降り、その降っている時間が予報期間の1/2未満の場合。
- ・一時雨：雨が連続的に降り、その降っている時間が予報期間の1/4未満の場合。

これは、雨が降る時間の合計が1/2未満～1/4以上なら時々雨、降る時間が連続的に1/4未満なら一時雨ということです。予報期間が24時間の場合、

- ・時々雨：12時間未満～6時間以上
- ・一時雨：連続的に6時間未満

例を右図に示します。予報期間に占める割合が最も大きい「曇」が最初になり、雨が断続的に降る時間の合計が7時間なら「時々雨」、連続的に2時間なら「一時雨」（断続的なら「時々雨」）になります。さて宿題です。右図の下の場合はどうでしょうか？



2024年04月12日11時 気象庁 発表			
日付	今日 12日(金)	明日 13日(土)	明後日 14日(日)
東京地方	曇後晴 	晴時々曇 	晴時々曇
降水確率(%)	-/~/20/10	0/0/0/0	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	20	23
	最低	-	12
			25 (23~26)
			11 (10~12)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は気温が上昇しそうです。日中は、ちょっと暑いぐらいですね。)